



# 予算・税制改正等に関する要望 ＜重点事項＞

- |                           |        |
|---------------------------|--------|
| 1. 薬局における物価高騰への支援         | P 2, 3 |
| 2. 中間年薬価改定における適切な対応       | P 4, 5 |
| (予算関連)                    |        |
| 3. 電子処方箋など薬局におけるデジタル化への対応 | } P 6  |
| 4. 生涯学習の推進                |        |
| (税制関連)                    |        |
| 5. 「課税繰り延べ制度」の創設          | } P 7  |
| 6. 在庫医薬品の資産価値減少への対応       |        |

別添：参考資料 1 予算・税制改正要望  
参考資料 2 日本薬剤師会の政策提言 2022

令和4年10月 公益社団法人 日本薬剤師会

# ＜物価高騰＞

## 1. 薬局における物価高騰への支援

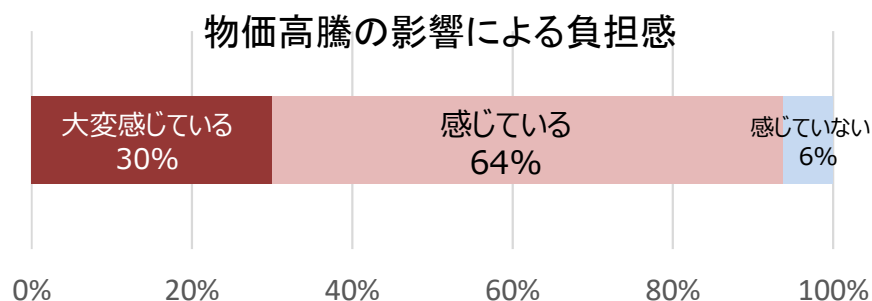
- ・水道光熱費や原材料費等の物価高騰は、国民の生活と同様、薬局の経営にも大きな影響を及ぼしています。
- ・国が定める公定価格で運営される保険調剤は、物価高騰の影響を価格に転嫁することはできないため、特に小規模な薬局では経営努力だけで対応することは極めて困難な状況です。
- ・このような状況下でも、地域への医薬品提供を担う薬局が、その責任・役割を果たせるよう、財政支援をお願いしたい。

# 薬局における物価高騰の影響について（速報）



光熱費関係はもちろん、薬袋、ビニール袋、分包紙、薬瓶など調剤に必要な消耗品が値上がりしており、薬局経営に与える影響は大きい。

値上がりが生じているものは何か？



現状4割の薬局が赤字経営（第23回医療経済実態調査）となっているが、今回の物価高騰により多くの薬局が物価高騰の負担感を感じている（回答のあった80薬局中94%・75薬局が感じていると回答）



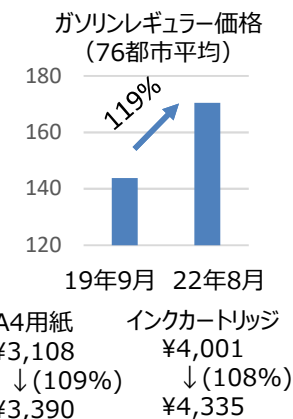
**電気代**  
医薬品保管・空調  
調剤機器・照明等  
(データ提供122件)



**消耗品**  
調剤に必要な様々な消耗品  
薬袋・ビニール袋・分包紙・薬瓶等  
(データ提供105件)



**ガソリン代**  
医薬品の配送等  
(データ提供77件)



寄せられた事例	ビニール薬袋	レジ袋
2019年7-8月	¥4,590	¥1,652
↓	↓(132%)	↓(128%)
2022年9月	¥6,077	¥2,118

薬局における物価高騰の影響調査結果より  
対象：日薬委員会委員関係者 回答：221件 期間：過去3年間の7月分の費用

# < 中間年薬価改定 >

## 2. 中間年薬価改定における適切な対応

- ・中間年薬価改定は、薬局等の事業継続を困難にし、医薬品ライフサイクルを壊すばかりでなく、安定供給への影響も危惧されます。
- ・中間年薬価改定は、本来の趣旨および目的を踏まえ、改定の対象範囲は「大幅な乖離のある品目」に限定していただきたい。
- ・現在の新型コロナウイルス感染症、物価高騰などによる薬局等への影響は、想定を超える状況が生じており、実施の見送りを含めた検討をお願いしたい。



# 中間年薬価改定による薬局への影響

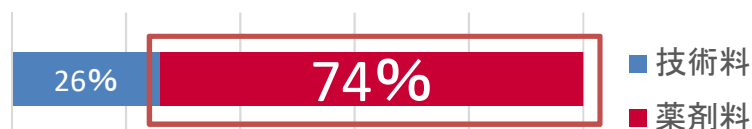
- ・薬局における調剤報酬の約74%は薬剤費が占めている。薬価改定は保険薬局の維持・運営等に大きな影響がある。
- ・薬価改定により、在庫医薬品の資産価値の減少のみならず、総売上上の減少にもつながり、資金繰りへも大きな影響を及ぼしている。

**これらのことが、中間年薬価改定により毎年起こり、  
保険薬局の経営に甚大な影響を及ぼしている。**

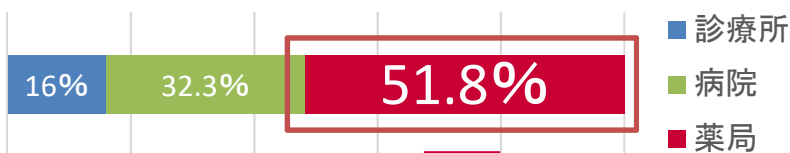


(n=185)

## 調剤報酬における薬剤料の割合

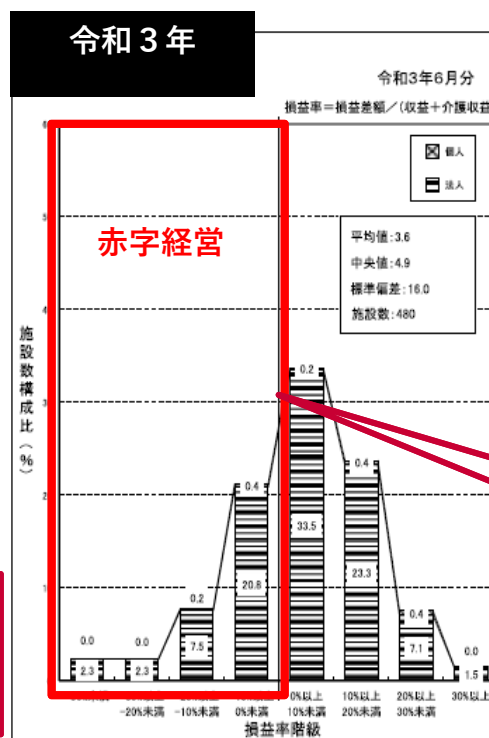


## 医療用医薬品の納入別の金額割合



**中間年薬価改定に伴う薬価の引下げ  
約4,300億円のうち、約2,236億円(約52%)は  
薬局への影響となっている**

※令和3年度の中間年薬価改定で約4300億円分の薬価引き下げ



## 薬価改定による資産価値の減少

	在庫品目数 (R3.3/31) 品目	在庫総額(薬価ベース)		
		①R3.3/31	②R3.4/1	③変動率 (②/①)
医療用医薬品 (平均値)	1,199.7	944.1	893.8	-5.3%
				<b>-50.3</b>

**1薬局あたり約50万円の  
資産価値が減少**

**約3割の保険薬局が  
赤字経営**

**最頻階級の損益差額  
年間-163万円**  
※損益差額階級別施設数集計より

## <予算関連>

### 3. 電子処方箋など薬局におけるデジタル化への対応

- ・医療DX普及のため、オンライン資格確認および電子処方箋の仕組みの整備への財政補助の継続をお願いしたい。また、医療情報の標準化・共有化に対応するために必要となる薬局の設備等に対しても、適切な財政支援をお願いしたい。
- ・医療DXに必須となる電子署名に必要なHPKIカードの大規模な発行・管理体制の整備（電子認証基盤（HPKI）の普及、リモート署名機能の追加）への予算措置をお願いしたい。

### 4. 生涯学習の推進（薬学教育・生涯学習への支援）

- ・地域包括ケアシステムにおいて、かかりつけ機能の強化、在宅医療の推進、チーム医療への参画に必要な能力の更なる充実・向上に向けた生涯学習支援策推進への財政支援をお願いしたい。

## <税制関連>

### 5. (新型コロナウイルス感染症等の影響による)

#### 「課税繰り延べ制度」の創設 (法人税関係)

- ・新型コロナウイルス感染症による薬局経営への影響は甚大であり、回復までに年数を要します。
- ・薬局が機能を維持して、地域医療を守るため、新型コロナウイルス感染症や物価高騰により経営状況が悪化した薬局を対象とした課税繰り延べ制度の創設をお願いしたい。

### 6. 在庫医薬品の資産価値減少への対応 (所得・法人税関係)

- ・薬局調剤医療費の約74%は薬剤料が占めていることから、薬価引き下げは、保険薬局の維持・運営等に、大変大きな影響があります。
- ・薬価引き下げに伴う在庫医薬品の資産価値減少に対して、税制優遇措置が行われる制度の創設をお願いしたい。